

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

<https://www.j-kana.or.jp/>
email: info@j-kana.or.jp



3

March, 2023
vol. 443



Contents

特集 北欧の建築・都市空間から学ぶ	01
建築探訪 (路地に魅せられて—part2)	03
特集 わがまちの美術館・博物館・郷土資料館	05
会員寄稿 (京都モダン建築祭で京セラ美術館に思う)	07
同好会活動報告 (かながわ建築設計大山講)	08
賛助会だより	09
支部のページ (相模原支部・大和綾瀬支部・鎌倉支部)	11
編集者のつぶやき (書初め)	14

瓦版は2021年12月よりWeb配信となりました。

特集 北欧の建築・都市空間から学ぶ

第6回（最終回）：人間中心の街 コペンハーゲン

～豊かなアクティビティを生み出すパブリックスペース～
Copenhagen, Denmark

九州産業大学 建築都市工学部 教授 小泉 隆

最終回は、人間中心のまちづくりが積極的に
行われ、自転車推進の先駆的施策等とともに注
目を集めているコペンハーゲンを紹介する。

この街を最も象徴するのが、1962年、世界で
も早い時期に作られた歩行者専用空間ストロ
イエだ。市庁舎広場からコンゲンス・ニュート
ー広場に至る全長約1.1kmの通りと複数の広場か
らなる歩行者専用空間には、多様な店舗が建ち
並び、オープンカフェや市場が出て、大道芸も
披露される路上は賑わいにあふれる。街路や
広場の使い方などまとめた市のマニュアルに
は、オープンカフェ、大道芸は「歓迎」とされ、
簡単な申請で路上にカフェが設置でき、一部
のルールを守れば許可なしでパフォーマンスが

きる。パブリックスペースの可能性を切り捨て
ているようにも思える「禁止」事項の多い日本
の路上や公園などとは大きく異なる。市で最初
の歩行者専用道ストロイエは当初、北欧という
寒い地で屋外生活が根付くのかなどの心配も
されたが、空間の質の高さが、多くの人を呼び
込み、滞在させ、経済効果にも結びつくことが
証明され、その成功が契機となって同様の道路
が市内には多数設置された。近年再開発で賑
わう内港周辺にも歩行者空間のネットワークが
できているが、それらも紹介したい。市役所広
場から内港へと続くヴェスター・ヴォルドゲード
通りが港へ突き当たる場所には、2つの棧橋か
らなるカルヴェボッド・ボルイエとその対岸に海水

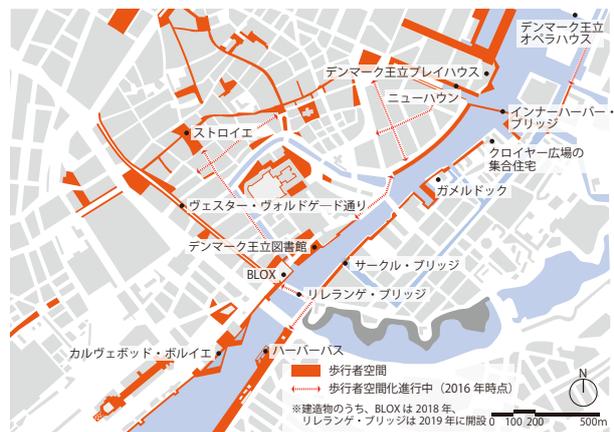
1



ストロイエ。歩行者で賑わう通り



ストロイエ。路上の市場とオープンカフェ



コペンハーゲン。歩行者空間の整備状況（2016年）

プール：ハーバーバスがあり、海水浴、日光浴や休憩、ウォーキングやサイクリングなど多様なアクティビティが展開される。一国の首都、中央駅から一キロ足らずの場所にて、現代的な施設が新たなアクティビティをもたらし、人と自然との新たな関係性が生み出されている。

この施設から、有数の観光スポット：ニューハウンまでの約1.2kmの両岸にも歩行者空間が整備されているが、内港の幅は100～170mと対岸の様子をうかがえる距離感で、また歩行者・自転車専用橋の新設などにもより、対岸へは500～600mおきに渡ることができ、様々なルートで水辺を回遊できることがこのエリアの魅力を高めている。水辺の遊歩道沿いには、BLOX、国会図書館、オペラハウスなど主要な文化施設が建ち、それらの水辺でも人々がリラックスして楽しむ姿が見られる。さらに水上には、遊覧船、水上バス、カヤック、小型ボートなど、人間や環境に優しい多様な乗り物が緩やかなスピードで行き交い、カヤック、ボートなどの貸

出し所もあり、観光客も気軽に水上空間を楽しめる。このように内港周りには歩行者にやさしい散策路と建築、様々な諸施設と乗り物が集まることで、人間を中心とした魅力的な空間と賑わいが総合的に生み出されている。

今回紹介した内容は一例であるが、北欧のパブリックスペースには日常的に人々にうまく使われ、市民生活にかけがえのない豊かさをもたらしているものが多い。日本とは社会システム他異なる部分が多いが、それらを超えても学ぶべきところは多いと思う。この2月に、北欧のパブリックスペースをストリート、自転車道、広場、庭園、屋上、遊び場などのカテゴリーで紹介する書籍を刊行したので、興味があれば手に取って頂ければと思う。これまでの連載が日本の建築や都市の創造に何らかの役に立てば嬉しい限りである。

・北欧のパブリックスペース：街のアクティビティを豊かにするデザイン、小泉 隆、デイビッド・シム、学芸出版社、2023年2月

2



吹抜け周りのオープンスペース



BLOX前。段状のウッドデッキ



古い倉庫を改修したガメルドックと水上のカヤック



新設された歩行者・自転車専用橋インナーハーバー・ブリッジ (2015)

路地に魅せられて - part2

スタジオアートクリエイト一級建築士事務所 杉本 勝郎

前回、路地の魅力を徒然なるままにしたためましたが、その後も路地愛が増大する傾向にあり、コロナの中、隙をついて出張にかこつけながら「路地あるき」を続ける今日この頃です。

【新潟の路地】

そのような中、数年前にプラタモリで紹介された新潟市の古町通りを訪れる機会があり、ブラついて来ました。

古町通りは江戸時代より古町通1番町から13番町まで商店街が続き栄えてきました。

かつて日本三大芸妓の街は、祇園、新橋、新潟古町とされ、新潟古町芸妓は200年の伝統があります。写真の小道は、当時の花街のあたりで、打ち水がされた敷石の路面が風情を感じさせ、粋な芸妓が今にも顔を出しそうな気持ちにさせます。



新潟古町の路地
(置屋組合の表示が見える)

【木曾の路地】

コロナ禍中、訪れた木曾路でも気になるのは路地。新潟と打って変わって、別の意味で生活の息遣いが感じられるのが妻籠宿。土塗り壁、板張り壁の武骨なテクスチャーにホッとするような路地空間が広がります。

7月の暑い盛りでしたが、涼風が駆け抜けるのも路地の良いところです。



木曾 妻籠宿の路地

【酒場の路地】

どこに行っても、その日の終わりは酒場に行ってしまう筆者。酒場のある路地が大好きです。

東京は中野あたりだと、南口の中野ブロードウェイにつながるサンモール商店街が有名で、名だたる酒場の名店がせめぎ合っていますが、最近北口にもヨーロッパの街角を彷彿とさせるレンガの路地が人気です。こじられたバルや居酒屋が立ち並び賑わっていますが、多少気後れするのは何故でしょう。



中野 レンガ坂

やはり、おじさんは昭和の香りに囲まれたいと落ち着かないのは仕方が無いのかもしれませんが。八戸は古くから漁港として栄え、漁師たちの飲み屋街がたくさんあります。

その中のひとつのみろく横丁も夜ともなれば魔界の巣窟となります。懐かしいコンクリート平板舗装につまづきながら、はしご酒をするのはまた格別です。



八戸 みろく横丁

北海道、北見市は人口に対する割合で焼肉の店舗数が日本一という意外な一面を持っています。飲み屋街のどこにいても、焼肉、ホルモンの匂いが充満している気がします。

そんな匂いを避けながら歩いていると、すすらん小路のような迷宮に引きずり込まれてしまうのも必然なのかもしれません。



北見市 すずらん小路

後半、吉田某よろしく酒場放浪記になってしまいました。人々の生活のすきまに存在する路地は、単に通路、道路にあらず。そこは、建物と建物が作り出した「潤いの空間」であるとの勝手な結論に達したところで筆を置きます。

乞う次回ご期待（陳謝）



特集 わがまちの美術館・博物館・郷土資料館

カスヤの森現代美術館

横須賀支部 株式会社アスデック建築事務所 小泉 厚



正面アプローチ

カスヤの森美術館は1994年、横須賀の閑静な住宅地の里山に開設された私設美術館です。正面から眺めるとヨーロッパの塔を彷彿させるデザイン、切妻の大屋根、ドイツ下見板張りの壁、そして、エントランスの斜めの袖壁が住宅のスケールで迎え入れてくれます。

塔の部分は教会の鐘塔からの発想で、信者が教会に集まりコミュニティを形成するように、人々が現代アートを媒介として気軽に立ち寄り、楽しめる空間を目指してつくられたそうです。

本館には展示室が2つあり、

現代美術家ヨーゼフ・ボイスの作品が常設展示されています。企画展は年5～6回開催されています。別館には宮脇愛子ら5人の現代芸術家の作品が常設として身近な距離で展示されています。塔の下のカフェは、吹き抜けからのハイサイドライト、程よく配置された窓、自由に閲覧できる美術関係書、何気なく飾られた作品等で構成され、くつろぎながら美術を鑑賞するお手伝いをしています。

また、裏庭の竹林には、250体の道祖神が点在しています。この道祖神は美術館が貴重な里山を守るために「里山羅漢の会」を発足させ、会に入会した方への個人的なモニュメントとして、自身が里山の一部となる「心の記念碑」として位置付けられています。竹林の中には宮脇愛子のワイヤー作品「うつろひ」が展示されています。

地域とともに育んでいる美術館。木漏れ日の中、竹林の音を聞きながら回想することで、心安らぐ美術鑑賞となるでしょう。



裏庭から本館を見る



裏庭の道祖神

【住所】 神奈川県横須賀市平作7-12-13

【電話】 046-852-3030

【休館日】 月曜日、火曜日、水曜日、年末年始（要確認）

【開館時間】 10：00～17：30

【入館料】 一般：800円、学生：600円（小学生：400円）

【アクセス】 JR横須賀線 衣笠駅より徒歩15分

京浜急行汐入駅 京急バス衣笠行きにて15分 金谷バス停下車徒歩7分、駐車場有り

【WEBサイト】 <https://www.museum-haus-kasuya.com/>

【設計】 株式会社洋建築企画

川崎市大山街道ふるさと館

川崎支部 株式会社創信建築事務所 森本 和樹



外観

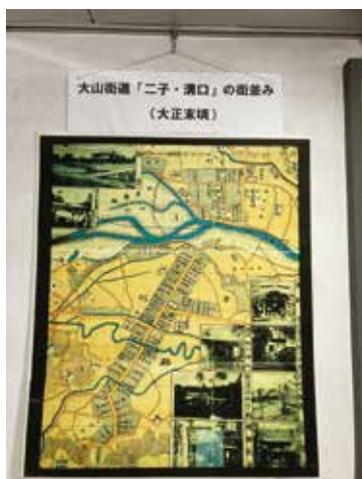


岡本かの子文学碑



内観

川崎市大山街道ふるさと館は、田園都市線二子新地駅と溝の口駅沿いの大山街道沿いにあります。この地域は江戸時代に大山街道の宿場(二子宿、溝の口宿)として大いに栄えた歴史を持ちます。今も歴史ある呉服店・薬屋等の蔵造りの町並みが残っています。



展示資料

大山街道は、現在の国道246号ですが、江戸時代には庶民のブームとなった「大山詣り」の道として有名になり、大山街道と呼ばれるようになりました。この大山街道に関わる歴史、民族などに関する資料や、ゆかりのある人の美術や文学などの作品が、所狭しと展示されています。また益子焼のミニ出張陶器市、陶芸づくりワークショップ(2023年3月5日(日)事前申し込み制)など、年間を通じてさまざまなイベントを実施しているので、親子でも楽しめそうです。

明治から昭和にかけて活躍した作家岡本かの子の実家は、この地で、江戸幕府大名の御用商人として巨万の財をなした、大貫家です。「誇り」と名付けられた岡本かの子文学碑が、大山街道ふるさと館から徒歩10分、かの子が愛した多摩川の畔にある二子神社の境内にあります。長男の岡本太郎が制作し、台座は丹下健三が設計にかかわっています。

【住所】〒213-0001 川崎市高津区溝口3-13-3

【電話】044-813-4705

【開館時間】午前9時30分から午後9時30分

展示室:午前10時から午後5時

【休館日】年末年始(12月28日から1月4日)および施設点検日・清掃日

【入館料金】常設展示は無料、貸会議室等は有料

【アクセス】JR南武線「武蔵溝ノ口駅」から徒歩7分

東急田園都市線・大井町線「溝の口駅」から徒歩7分

東急田園都市線「高津駅」から徒歩5分

【Webサイト】<http://furusatokan.web5.jp/>

京都モダン建築祭で京セラ美術館に思う

伊勢原支部 支部長 一級建築士事務所 有限会社内田工務店 内田 幸夫

2022年11月11日から13日の3日間にわたり開催された、京都のモダン建築を一斉公開する初のイベント「京都モダン建築祭」に参加しました。

市内に点在する36の建物で特別公開や特別ツアー他、様々な企画を展開。チケットは3日間有効ですが1日しか時間が取れず、多くを見て回ることはできませんでしたが普段は入ることのできないエリアの見学など満喫させていただきました。

私が見学したのは時忘舎（旧竹中精麦所）、京都国立近代美術館、京都府立図書館、京都市京セラ美術館（京都市美術館）、平安神宮で、時忘舎では所有者の方から昔話が聞けたり、平安神宮で大鳥居の模型を間近に見たり。中でも印象に残ったのが京セラ美術館でした。

1933年創建。現存する日本最古の公立美術館である帝冠様式の本館を改修し、2020年3月にリニューアルオープン。数々の建築デザイン賞を受賞しています。

まず驚かされるのは平安神宮の参道からエントランスまで続くスロープの広大さ。緩やかに掘り下げられた先にあるエントランスは元々は

地下であった部分で、その両サイドに設置されたショップとカフェにはガラス壁からたっぷりと光が差し込み、そこが80年も地下であったとは思えない開放感です。

エントランスの先には大階段、階段を上ると白亜の大ホール、さらに東山を望む日本庭園へと変わって行く景色に、次に何があるのか、どんな展示が見られるのかと期待に胸が踊ります。

正直、来訪前はいかにも明治な煉瓦の質感と無機質なガラスの組み合わせに違和感しか感じていなかった建物でした。が、実際の印象は全く違ったものでした。

自分には思いもつかない、勇気ある（としか言いようのない）大改修により、本来の美しさはそのままに、全く新しい建物として生まれ変わっているのを目の当たりにし、雨の中、子供からお年寄りまでたくさんの方が目を輝かせてあちこちを見て回っているのを見れば、古い建物を守るだけでなく、多くの人に愛される「生きた」建物にするというのは意味のあることなのだ実感した次第です。



京セラ美術館外観



天井高16mの中央ホールは神殿を思わせるデザインが美しい大空間。



元は地下であった部分を改装したショップエリアは雨の日でも明るく開放的。ガラス壁の向こうにスロープが見える。



特別な客人を迎える場に相応しく、設えの全てが大きく贅沢に作られた貴賓室（特別公開）

同好会活動報告

同好会 令和4年度「かながわ建築設計大山講」

講元 根岸 光司

令和4年度の大山講は平成29年に最初に行って以来6回目になった。今年度は特別な年度になった。自らの会の行衣（参拝に着用する法被のようなもの）を着て大山阿夫利神社へ参拝が出来たことである。参加者の笑顔を見て欲しい。なんとも誇らしい顔をしている。それには、各自の事務所の繁栄も確実にしている事が伺える。前回までは伊勢原市の行衣を借りていたが、今回は違った。参詣道路の土産物屋からも今迄とは違った掛け声がかかっていた。「おめでとう」と。尚、背中の際は「はかりごと」と読む。



本同好会の「かながわ建築設計大山講」(以下大山講)はその名の通り、建築設計の繁栄と発展を願う事を設立趣意としている。大山講は宗教ではある。協会の活動とは相容れないと考える会員もあったが、建築設計の繁栄と発展を願う事は宗教を超えた会員皆の願いである。更に会員同士で、建築設計の明日を語る場はぜひ必要であると考え、一泊2日の大山講を始めた。実際この6年間、全て夜中まで話しが弾んでいる。

今年度は12月2日午後から12月3日昼までで行った。1日目は大山講セミナーとして昨年と同様、大山阿夫利神社の権禰宜の目黒久仁彦氏を迎え、阿夫利神社の管理する今は休館している源長坊なる先導師宿の活性化を参加者で現地見学及びその後の建物の改修や活用についての検討会を開いた。巫女舞や神楽などの体験型宿やパワースポットの宿、中学生の大山登山のベースキャンプ宿等の意見が出されている。

2日目は本来目的の大山参拝である。「納め太刀」といって木製の大型太刀を担いで参拝するのが本格的な形なので、参加者が20名を超えたら治め太刀の奉納も夢ではないと話している。参拝は毎回神楽の奉納を行っている。今回は先の日黒権禰宜が神楽を踊ってくれた。我々との特別な関係が出来た証でもある。



検討会風景



源長坊見学



参拝帰りの寄道の楽しい一杯



参拝風景



目黒権禰宜と平山講員

賛助会だより

屋上防水から考えるカーボンニュートラル

田島ルーフィング株式会社 防水営業部 横浜営業所 森永 菜美

田島ルーフィング株式会社 防水営業部 横浜営業所の森永 菜美と申します。

弊社は、建築防水材、住宅用防水材、ビニル床タイルやタイルカーペット等の床材を製造、販売しております。

防水営業部では、総合防水材料メーカーとして、建物用途に合わせ適材適所の工法はもちろん、下記のようなカーボンニュートラルに繋がるご提案を心掛けております。



●太陽光基礎と屋上防水

屋上は太陽光モジュールの設置場所となったり、屋上緑化を施すことで特に都市部での暑熱環境改善効果を発揮したりと、利用用途は多岐に渡ります。

このようなご相談に対し、設置方法や納りの提案をするだけでなく、カーボンニュートラルにつながる防水工法をご提案させていただいております。その一例が、高耐久防水工法です。

●高耐久防水工法

これまで、保護コンクリート仕上げこそが高耐久防水の最高峰でしたが、一方で保護コンクリート打設時にもCO2が発生しますし、標準とされる80mm厚の保護コンクリート荷重を支えるために構造は太くなり、結果的に使用するコンクリートの総量が増えていく事となります。

新たな露出用ルーフィング「強力フラットフェース」は、保護コンクリートの打設を行わない露出防水でありながら、特殊面材に覆われたルーフィング仕上げとすることで、45年という耐久年数を実現致します。また、厚塗りが可能なため保護塗料の塗り替え頻度も従来品の4分の1程度となり、お施主様にとってコストメリットがあります。

防水は“材工”あってのものです。45年もの耐用年数を実現するためには、防水施工店さんの技術無くしては成し得ることは出来ません。そこで年に数回の実技研修や勉強会、意見交換会を実施しています。今後建築業界もカーボンニュートラルへの取り組みはますます加速するものと思われます。総合防水材料メーカーとして、防水層で実現可能なカーボンニュートラルをご提案していくことで持続可能な社会へ貢献できるよう、努めてまいります。

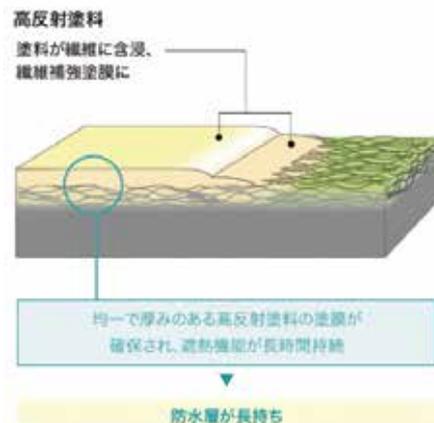


繊維補強面材
改質アスファルトルーフィング
「強力フラットフェース」

【フラット (FRAT) とは】

「Fiber Reinforced Acrylic resin Treatment (繊維補強アクリル処理面材)」の頭文字をとったものです。

【強力フラットフェース表層構成イメージ】



田島ルーフィング株式会社

〒231-0012横浜市中区相生町6-113オーク桜木町ビル10F

賛助会だより

戸建から分譲地まで、ドローンを使ったBIM/CIM敷地調査でDXを推進する

株式会社JFDアドバンスサーベイ 大橋 修平

(株)JFDアドバンスサーベイの大橋と申します。

弊社は建築予定敷地の測量や法令調査、各種行政手続きを行う会社として2015年に設立し、首都圏を中心に年間1000件以上の調査実績があります。

最短で即日納品可能な従来の現況平面図作成に加え、前回の賛助会フェアの際に皆様にご紹介させていただきました、ドローンや3Dスキャナーを使用した調査地の3Dモデル作成業務に業界でも一早く取り組んでいます。



●ドローンで現場をまるごとデータ化する事で、欲しい情報がいつでも計測可能に

弊社で作成する3Dデータは単に調査地を3Dモデルで再現したものではありません。

座標値や高さを現地にしっかり合わせて作成している為、現場に行かなくてもデータ上でいつでも欲しい所のレベルや寸法を計測する事が可能になっています。

●データ上で宅地造成や計画建物を配置し、よりリアルなプレゼンテーションを

3Dデータ活用の利点は現地状況のリアルな再現や寸法の計測以外にも数多くあります。

分譲計画や建物を配置する事が可能な為、実際に建物を建築する前に、配置したモデル内から現実に近い眺望を確認する事が出来ます。また、時間経過による日当たりの影響等をシミュレーションする事も可能です。VR対応可能なデータなので、プレゼン効果は抜群です。

10



調査当時の状況をリアルに再現した3Dモデル



データ上で宅地造成した分譲イメージ



建物のモデル等を配置した完成イメージ



植栽や外構なども作りこんでリアルに表現可能

(株)JFDアドバンスサーベイ

〒101-0044東京都千代田区鍛冶町2-6-1 堀内ビルディング4階

相模原支部紹介

スタジオアートクリエイター一級建築士事務所 杉本 勝郎

昨年から今年にかけて、コロナのすき間で支部の活動が少し出来ました。本会のスポーツ大会の参加も地引網に続き久しぶりの顔合わせでした。バドミントンと言う比較的、老若男女が楽しめる種目と高をくくったのが、間違いのもと。空振り連続に残ったのは筋肉痛のみと言った結果でした。



11

10月には、小林さんが体調の良い時、飲み会が出来ました。辛い闘病生活の合間ではありましたが、みんなの顔が見たいと言って出てきて頂いた小林さん。笑顔を忘れません。（合掌）



11月になって3年ぶりの支部旅行も出来ました。行先は函館で、行きに新幹線ホームにいっしょにいたのに、おしゃべりに夢中で乗り遅れた人が二人いたのを除けば（笑）旅は順調で楽しく行くことが出来ました。

そして、今年になり支部新年会もすることが出来、積もる話に花が咲きました。

今年は相模原市のわかば祭りに参加したりたくさん活動を予定しております。

支部の皆さん、そして神事協の各支部の皆さん、今年も頑張りましょう。

大和綾瀬支部しごと展紹介

去る2023年1月29日に第6回大和綾瀬しごと展2023を開催しました。2020年1月18日、19日に第3回しごと展を行って以来ぶりの来客有りのリアル開催となりました。

展示としましては、支部会員、市内設計事務所(会員外)、賛助会員の展示を行っています。大和市・綾瀬市内の会員外へしごと展の参加の案内をお送りし、しごと展を通して、事務所協会を知ってもらい、係わりを持っていただき会員増強へつながればと考えています。

ワークショップとして、箸作りを行い、講演会、耐震診断などの相談を開催しました。

支部長 有限会社徳豊設計 小幡 剛志



講演会の様子



仕事展の様子

第6回 大和・綾瀬 建築しごと展 2023
 ~住みよい大和の街めざして~
 日時：2023年1月29日(日) 11:00~17:00
 会場：大和文化創造拠点シラス1階ギャラリー
 大和市大和南1-8-1 大和駅より徒歩3分

★新春特別講演★
 14:00~
 「2023年の運勢」

丸屋気宇建築法鑑定士 鍵井 健一
 モロイキカウー建築監事 事務所 提供

VR展示 展示場をスマートフォンで観覧 2月1日からは半年間の観覧券	住みよい街づくりの展示 会員建築作品パネル展 2023年1月18日、19日に開催された第3回しごと展の展示品を、本展覧会でも展示いたします。	寄贈会員商品パネル展示 寄贈いただいた商品、展示品を本展覧会でも展示いたします。
大和の建築指導課 2023年1月18日、19日に開催された第3回しごと展の展示品を、本展覧会でも展示いたします。	「住・緑・家」運営特別委員会 2023年1月18日、19日に開催された第3回しごと展の展示品を、本展覧会でも展示いたします。	新着木工製品 提供 2023年1月18日、19日に開催された第3回しごと展の展示品を、本展覧会でも展示いたします。

主催：(一社)神奈川建築士事務所協会大和綾瀬支部 後援：大和市・綾瀬市 (一社)神奈川建築士事務所協会賛助会
 事務局 神奈川建築士事務所協会 TEL: 046-2374-8227

仕事展ポスター



第4回、第5回と続けてきた、WEBでのVR展示も引き続き行っています。VR展示については、7月末までとなっています。QRコードを添付しますので、ご覧いただければ幸いです。



VR 展示 QR (大和綾瀬支部 HP)

新しい仲間

鎌倉支部長 アトリエアテネ 矢澤 正明

R4年度は鎌倉支部にとって大変嬉しい年でした。

ここ数年会員数は約40名と横ばいの当支部ですが今年度は新しい仲間(会員数)が6名も増えました。

その中には入会のきっかけが鎌倉支部にて主催している仕事展という人も何人かいました。会員数増強のために仕事展が寄与した良い例だと感じています。

今年も鎌倉支部の仕事展が開催されています。その中で掲載している新しい仲間の作品をいくつか紹介します。

詳しくは以下のサイトをぜひご覧ください。

◆建築士の仕事展・鎌倉2023

<https://www.kamasigo.org/index.html>

2023年2月1日から公開

13

Instagramも始めました！



新入会員のご紹介

横浜支部

株式会社三井ホームデザイン研究所 神奈川一級建築士事務所 大芝 宗一郎
〒220-0011横浜市西区高島2-19-2横浜神谷ビル5階
TEL.045-450-5531/FAX.045-450-5539

鎌倉支部

建築設計事務所 可児公一植美雪 可児 公一
〒247-0055鎌倉市小袋谷2-15-30
TEL.0467-95-0767/FAX.0467-95-0767

鹿嶋建築設計事務所 鹿嶋 徹
〒248-0024鎌倉市稲村ヶ崎5-14-5
TEL.0467-40-6732/FAX.0467-40-6741

伊勢原支部

スタジオオカムナ 角田 麻夫
〒259-1145伊勢原市板戸410
TEL.090-2426-8958/FAX.0463-79-9138

相模原支部

Design Consultant Y.Kida 一級建築士事務所 相模原 義信
〒252-0321相模原市南区相模台3-8-1
ハイホーム小田急相模原310
TEL.090-9683-4866

県西支部

株式会社ジョイワークス二級建築士事務所 武藤 直明
〒250-0865小田原市蓮正寺35-7 第2JSビル301
TEL.0465-25-3993/FAX.0465-25-1997

退会者

横浜支部

株式会社B-architect 大久保 賢治

川崎支部

建築コンサルタント川崎設計株式会社 川崎 智三

変更

横浜支部

小泉木材株式会社一級建築士事務所
(所在地、TEL、FAX変更)
〒224-0057横浜市都筑区川和町101
TEL.045-931-2801/FAX.045-931-2880

三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社 本部一級建築士事務所
(事務所名変更)
旧) 三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社 横浜一級建築士事務所

相澤一級建築士事務所
(所在地、FAX変更)
〒244-0815横浜市戸塚区下倉田町560-2
FAX.045-881-2468

ナイスプレカット株式会社一級建築士事務所
(指定代表者変更)
豊 将太

川崎支部

ティーエー設計一級建築士事務所
(所在地、TEL、FAX変更)
〒252-0231相模原市中央区相模原2-13-7 グラウンド相模原903号室
TEL.042-768-7583/FAX.042-768-7524

一級建築士事務所アトリエアップルズ株式会社
(所在地変更)
〒236-0005横浜市金沢区並木2-11-2-202

横須賀支部

ウスイホーム株式会社一級建築士事務所
(指定代表者変更)
木部 浩一

厚木支部

オブシディアン一級建築士事務所
(所在地変更)
〒243-0218厚木市飯山南2-32-3

賛助会退会者

株式会社石井工建

会 勢

支部名	令和4年4月1日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	245	255	16	6	10
川 崎	103	107	9	5	4
横 須 賀	50	52	2	0	2
湘 南 三 浦	17	16	0	1	-1
藤 沢	35	36	2	1	1
鎌 倉	38	42	5	1	4
茅ヶ崎葉川	14	15	1	0	1
平 塚	22	22	0	0	0
秦 野	13	14	1	0	1
伊 勢 原	5	6	1	0	1
大和綾瀬	19	18	0	1	-1
厚 木	31	31	0	0	0
座 間	12	12	0	0	0
海老名	16	15	0	1	-1
愛 川	6	6	0	0	0
相模原	63	64	2	1	1
県 西	39	39	3	3	0
合 計	728	750	42	20	22
賛助会員	96	96	1	1	0

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。

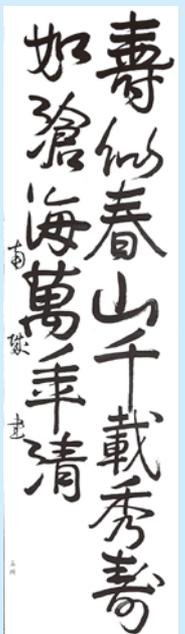
※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき

今年もお正月に子どもの宿題と一緒に書初めをしました。普段なかなか時間が取れず、上達もしませんが、書くときは、いろいろな事を考えずに集中できるので、そういった時間があることが自分には必要で続いているような気がします。ゆっくりと昇段を目指したいと思います。

【読み方】 壽(じゅ)(寿)は春山(しゅんざん)に似て千載(せんざい)秀(ひい)で寿は滄海(そうかい)の如く萬(ばん)(万)年清(せい)し

【大意】 寿は春の山のように千歳までも長く、寿は大海のように万年までも清らかで濁りがない。「寿」とは、お正月のお祝い・喜びなどと解釈していただければよいのではないのでしょうか。



(海老名支部 株式会社SAIplus建築設計事務所 仙波 弦)

◆◆◆令和4年度 入会金&会費無料キャンペーンの実施について◆◆◆

現在、当会では「令和4年度 入会金&会費6ヶ月間 無料キャンペーン」を実施中です。

会員の皆様におかれましては、まだ当会へ入会されていないお知り合いの建築士事務所様への周知等、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<制度内容>

◇入会金30,000円および入会時から6ヶ月間の会費を免除

◇適用期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

のご入会分

※詳しくはキャンペーン特設ページをご参照ください。→https://j-kan.or.jp/architect_news/4908



KANAGAWA 令和5年3月号 (通号443号)

発行 令和5年3月1日 (奇数月1日発行)
 発行人 白井 勇
 発行所 一般社団法人 神奈川一級建築士事務所協会
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 加瀬ビル201 2F
 TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807
 印刷所 株式会社 柏苑社

担当副会長 杉本 勝郎 小松 正道
 会報誌編集特別委員長 小泉 厚
 会報誌編集特別副委員長 加藤 一郎
 会報誌編集特別委員 雨森 隆子 小河 泰隆
 森本 和樹 戸井田 顕
 中原 尚代 仙波 弦
 事務局 久保田 千尋



今月の表紙

横須賀市の平和中央公園にある 平和モニュメント 「THE AXIS OF PEACE」

平和中央公園は1970年に開設され、横須賀中央駅から10分程度で歩いて、横須賀市街と東京湾を一望できる眺望の良い公園として、長年市民に愛されてきた。1992年に平和のシンボルとして設置された旧モニュメントが老朽化により撤去され、2021年にリニューアルされ現在のモニュメントが完成した。

新しいモニュメントは土地の記憶に触れるデザインになるように、かつて公園にあった砲台の形を参照しつつ、横須賀の歴史的な建築のレンガに彫られている桜のマークも新しいモニュメントのレンガに再現されている。

またモニュメントの天井や円柱には、多くの穴が開いているが、この円はすべて横須賀市民が手で書いたもので、そこに日差しや照明があたることで昼と夜で大きく表情を変えるデザインとなっている。 (表紙写真・文章／戸井田 顕)